

特別シンポジウム「岡部健と臨床宗教師の10年」趣意書・開催要項

臨床宗教師は、在宅緩和ケア医である岡部健氏を中心に様々な宗教者や医療者、学術関係者らが東日本大震災をきっかけとして集い、被災地支援と宗教者による公共空間での心のケアを目的として東北大学に寄付講座を設置したことから始まりました。2012年9月27日にがんとの闘病を経て岡部健医師が亡くなりますが、その1か月後の2012年10月23日には東日本大震災の被災地石巻にて第1回臨床宗教師研修講座が開催されます。

そのような経緯で臨床宗教師の養成がはじまり10年が経過しました。その間、多方面からの協力参画を得て日本臨床宗教師会が発足、資格制度も整い、多くの臨床宗教師が誕生しました。

しかし、組織や活動が大きくなるにつれて「臨床宗教師の課題」も散見されつつあります。それはまさに臨床宗教師が日本社会に実装されつつあることを示す課題でもあり、これからの臨床宗教師の姿を考えていくための課題でもあります。

このような問題意識のもと、岡部氏の逝去と臨床宗教師養成から10年という時間を据え、臨床宗教師の原点とこれまでを振り返り、今後の課題と展望を語る場を設けるため、実行委員会を組織し「岡部健と臨床宗教師の10年」と銘打ったシンポジウム開催することに致しました。

シンポジウムは2部構成で、第1部は「岡部健医師没後10年～岡部健の想い 臨床宗教師の原点を探る～」とし、岡部氏と縁の深いお二人の識者、東北大学名誉教授 鈴木岩弓氏と石巻赤十字病院副院長 鈴木聡氏をお招きし対談という形式のなかから、岡部氏の思想や岡部氏が抱いた臨床宗教師の姿などを掘り下げていきます。

第2部は「臨床宗教師養成10年～臨床宗教師 これまでの歩みとこれからの歩み～」として、ゲストコメンテーターに相模女子大学名誉教授 浮ヶ谷幸代氏を招き、全国各地の臨床宗教師会より寄せられた現場での悩みや課題などの生の声をもとに、日本臨床宗教師会の各委員会より課題への対応と今後の展望を発表していきます。

第1部、第2部ともに会場からのレスポンスを交えながら、参加者皆様ともに考えていくシンポジウムを目指しております。

臨床宗教師会所属の方、関係業種や臨床宗教師に興味関心をお持ちの方々、またこれまで臨床宗教師活動を支えて下さった各団体の皆様などとともに、これからの臨床宗教師の在りかたを考えていただけたらと思っております。

次頁よりの開催要項をご覧ください、ご参加をお待ちしております。

日本臨床宗教師会会長
シンポジウム大会長
鎌田東二

日本臨床宗教師会副会長
シンポジウム実行委員長
金田諦應

○日本臨床宗教師会事務局 連絡先
〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院文学研究科実践宗教学講座内
sicj@g-mail.tohoku-university.jp

○特別シンポジウム 問合せ先(シンポジウム事務局)
sicj.symposium@gmail.com

開催要項

- ・日時：令和5年5月20日（土）14時～18時
第1部 14時より「岡部健医師没後10年 ～岡部健の想い 臨床宗教師の原点を探る～」
対談：鈴木岩弓氏（東北大学名誉教授）× 鈴木聡氏（石巻赤十字病院副院長）
第2部 16時より「臨床宗教師養成10年 ～臨床宗教師 これまでの歩みとこれからの歩み～」
発表：日本臨床宗教師会会長鎌田東二
資格委員会、倫理委員会、継続教育委員会、教育プログラム認定委員会、研究委員会
レスポンスコメンテーター：浮ヶ谷幸代氏（相模女子大学名誉教授）
- ・会場+オンライン ハイブリッド
会場：せんだいメディアテーク 7階 スタジオシアター
宮城県仙台市青葉区春日町2-1
オンライン：Zoom ウェビナー
- ・会場150名、オンライン参加者200名
- ・参加費無料
- ・申し込み方法
下記URLまたはQRコードのリンク先のフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/dYUsbVCNfMLxCc3x6>



- ・問合せ：特別シンポジウム事務局 sicj.symposium@gmail.com

主催：一般社団法人日本臨床宗教師会

協力：東北臨床宗教師会、北海道臨床宗教師会、関東臨床宗教師会、中部臨床宗教師会、関西臨床宗教師会、中国地方臨床宗教師会、四国臨床宗教師会、九州臨床宗教師会、東北大学大学院文学研究科死生学・実践宗教学専攻分野

後援：爽秋会岡部医院仙台、宮城県宗教学者連絡協議会、愛知学院大学大学院文学研究科宗教学仏教学専攻、大正大学臨床宗教師養成課程、種智院大学臨床密教センター、上智大学臨床宗教師養成プログラム、武蔵野大学臨床宗教師・臨床傾聴士養成講座、龍谷大学大学院実践真宗学研究科、NPO法人日本スピリチュアルケアワーカー協会
(後援予定団体含む)

シンポジウム実行委員会

大会長：鎌田東二（日本臨床宗教師会会長）

実行委員長：金田諦應（日本臨床宗教師会副会長）

実行委員：島藺進（日本臨床宗教師会顧問）

小林茂（北海道臨床宗教師会）

新田忍澄（東北臨床宗教師会）

井川裕覚（関東臨床宗教師会）

坂野大徹（中部臨床宗教師会）

野々日月泉（関西臨床宗教師会）

童銅啓純（四国臨床宗教師会）

榊野統胤（中国地方臨床宗教師会）

吉尾天声（九州臨床宗教師会）、

谷山洋三（日本臨床宗教師会 事務局長）

鍋島直樹（日本臨床宗教師会 事務局次長）

高橋原（日本臨床宗教師会 事務局員）

森田敬史（日本臨床宗教師会 事務局補佐）

シンポジウム事務局長：高橋悦堂（東北臨床宗教師会）

以上

特別シンポジウム 「岡部健と臨床宗教師の10年」

<p>第1部</p> <p>14:00 ～ 15:40</p>	<p style="text-align: center;">第1部</p> <p style="text-align: center;">岡部健医師没後10年 ～岡部健の想い、臨床宗教師の原点を探る～</p> <p>臨床宗教師誕生の中心人物とも言える故岡部健医師。岡部健という人物とその思想を振り返ることで、彼が臨床宗教師に望んだものを探る。次の時代の臨床宗教師像を考えるためにも、原点ともいえるその想いを今一度見つめ直すことには意義があるだろう。</p> <p>臨床の現場において、宗教性は人の心にどのような影響を与え、どのようにケアに繋がりのか。また「お迎え現象」に代表されるような、日本人の宗教性や死生観といった精神風土の影響は、死にゆく人のケアにどんな意味を持つのか。そして宗教者は何が出来るのか。</p> <p>岡部氏の思想と宗教者によるケアの考察について、鈴木岩弓氏(東北大学名誉教授)と鈴木聡氏(石巻赤十字病院副院長)の対談、そして会場からのレスポンスで迫っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハープ演奏 奏者:大福由喜氏(NHK ディレクター) ・開会挨拶 金田諦應(日本臨床宗教師会副会長・実行委員長) ・対談(60分) <ul style="list-style-type: none"> ○対談「岡部健は臨床宗教師に何を期待したのか」 ・鈴木岩弓氏(東北大学名誉教授)×鈴木聡氏(石巻赤十字病院副院長) ・会場よりレスポンス
	<p>○ 休憩・準備</p>
<p>第2部</p> <p>16:00 ～ 18:00</p>	<p style="text-align: center;">第2部</p> <p style="text-align: center;">臨床宗教師養成10年 ～臨床宗教師、これまでの歩みとこれからの歩み～</p> <p>第1部の内容を受けながら、第2部では臨床宗教師養成10年をテーマとして、臨床宗教師養成や組織のこれまでの10年を振り返り、今後に向けた課題を探っていく。</p> <p>全国の地域臨床宗教師から集められた臨床現場での課題をもとに、日本臨床宗教師会の「資格認定」、「倫理」、「継続教育」、「教育プログラム認定」「研究」の各委員会より発表を頂く。</p> <p>発表後、会場とコメンテーターからのコメントを受けてその内容を深め討議・ディスカッションを行う。そこからシンポジウム参加者が「これからの臨床宗教師の姿」や「臨床宗教師会の課題」を考え、その在りかたや社会実装の姿を描くヒントを得て欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明 金田諦應(日本臨床宗教師会副会長・実行委員長) ・発表(60分) <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床宗教師会 会長 鎌田東二 資格認定委員会、倫理委員会、継続教育委員会、教育プログラム認定委員会、研究委員会 ・レスポンス(会場より) ・レスポンス(コメンテーターより) コメンテーター:浮ヶ谷幸代氏(相模女子大学名誉教授) ・閉会挨拶 鎌田東二(日本臨床宗教師会会長・大会長)